

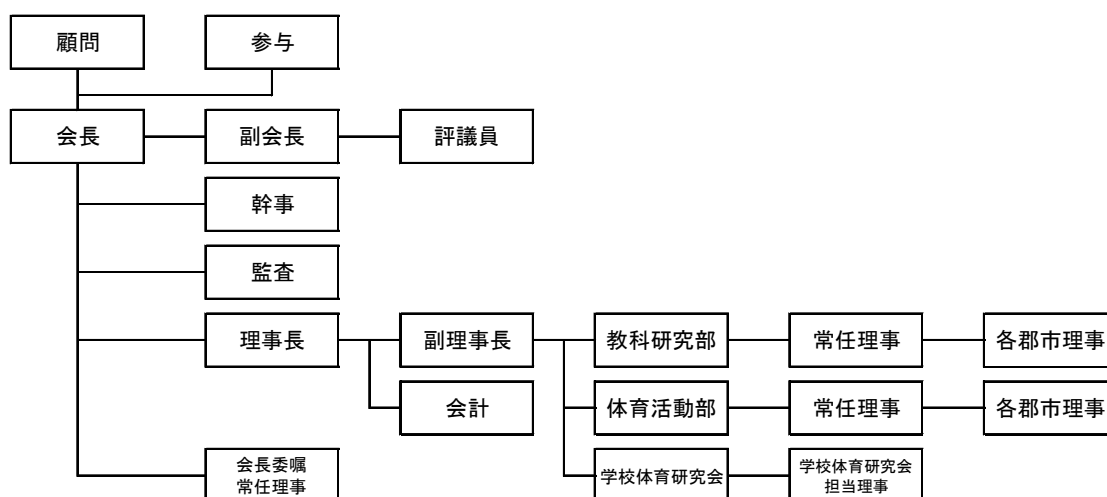
奈良県小学校体育研究会

平成23年度活動状況について

◇本会は、奈良県小学校体育の振興を図ることを目的とし、小学校体育に関する調査・研究、小学校体育の指導力の充実・向上、小学校の各種体育活動の推進・奨励等の、研究・活動を行っている。

その目的を達成し、諸活動を推進・実施していくため、以下の組織・体制で運営を行い、活動・研修にあたっている。

メールマガジン続き



◇平成23年度事業について

1. 会議・研修

- 常任理事会
- 評議員・理事合同会議
- 前期研究大会・後期研究大会
- 指導法研修会

2. 体育実技指導地区別講習会

- | | | | |
|----------------|-----------|----|--------------|
| ○「多様な動きをつくる運動」 | H23年8月18日 | 会場 | 葛城市立新庄北小学校 |
| ○「ゲーム・ボール運動」 | H23年8月19日 | 会場 | 大淀町立大淀桜ヶ丘小学校 |
| ○「器械運動」 | H23年8月22日 | 会場 | 桜井市立初瀬小学校 |
| ○「リズムダンス・表現運動」 | H23年8月23日 | 会場 | 生駒市立俵口小学校 |
| ○「体づくり運動」 | H23年8月25日 | 会場 | 奈良市立富雄南小学校 |

3. ダンス実技指導者講習会

4. 第5回子どもチャレンジ運動大会 チャレンジ運動フェスタ
H23年12月23日 県立橿原公苑体育館
小学生参加者 約460名

5. 各部の事業・活動

《1》 教科研究部

(1) 平成23年度研究主題について

〈研究主題〉

子どもが夢中になって取り組む体育学習
～運動の楽しさや喜びを感じる体育学習～

上記研究主題を達成するために、以下の観点に焦点をあてて取り組むこととする。

1. 指導計画や題材の工夫
2. 指導方法の工夫
3. 児童の運動能力、体力の向上をはかる工夫
4. 評価の工夫
5. 生活の健康・安全を高める学習の工夫

◎上記の研究主題のもと、指導法研修会を設け、研究・研修にあたる。

すべての領域について研究していくが、指導法研修会では、以下の3部会を設け、授業研究を実施した。

- ・体づくり・表現運動部会（含：表現リズム遊び）
- ・器械運動部会（含：器械・器具を使ったの運動遊び）
- ・ゲーム・ボール運動部会

(2) 前期・後期研究大会の実施

本研究会では、年に2回、前期と後期に分けて、体育授業公開や実践報告、講演等により、研修を行っている。H23年度においては、以下の通り研究大会を実施した。

○前期研究大会 H23年6月10日 香芝市立三和小学校 公開授業 3クラス
講演会 大阪教育大学 教授 赤松喜久 先生
参加者 119名

○後期研究大会 H23年11月28日 奈良市立飛鳥小学校 公開授業 3クラス
分科会・研究協議及び各郡市実践紙上発表
参加者 118名

(3) 指導法研修会

「体づくり・表現運動部会（含：表現リズム遊び）」、「器械運動部会（含：器械・器具を使っ
ての運動遊び）」、「ゲーム・ボール運動部会」の3部会に分かれて、研究授業を
行い、指導力の向上に努めた。

○「体づくり・表現運動部会（含：表現リズム遊び）」

H24年 2月 2日 平群町立平群北小学校

○「器械運動部会（含：器械・器具を使っ
ての運動遊び）」

H23年11月15日 桜井市立大福小学校

○「ゲーム・ボール運動部会」

H23年12月 9日 奈良市立富雄南小学校

(4) 近畿小学校研究大会・和歌山大会への参加

《2》 体育活動部

県小体研では、これまで毎年、県下の小学生を対象に、陸上競技記録会と、水泳記録会を実施
してきた。体育活動部では、その計画・運営に中心となって取り組みを行っている。

また、昨年度より、奈良県では、小学校・中学校・高等学校の体育研究会・団体が連携し、「体
力向上推進連絡会」を立ち上げ、児童・生徒たちの体力向上に資する取り組みを実施している
ところである。

(1) 第45回奈良県小学生陸上競技記録会

場所 橿原公苑陸上競技場

7月28日 県南部大会 参加校 59校 参加児童数 1982名

7月29日 県北部大会 参加校 62校 参加児童数 1297名

合計 121校 3279名

(2) 第53回奈良県学童水泳記録会

場所 天理プール

8月10日 参加校 72校 参加児童数 887名

《3》 学校体育研究会

(1) 第50回全国学校体育研究大会長野大会において

○本大会での奈良県小学校体育の「優良校」「功労者」表彰

「優良校」 香芝市立三和小学校

「体育功労者」 香芝市立三和小学校 校長 小西友吉 先生

(2) 第33回奈良県学校体育研究大会について

○第33回奈良県学校体育研究会

奈良県ではこれまで各校種の体育担当教員が中心となり、それぞれの取り組みを報告・交流し、校種間の違いを受けとめ、理解・把握し合い、学び合いながら、それぞれの校種に応じた児童・生徒の体育授業の創造や体力向上に寄与する研修の機会として、「学校体育研究会大会」を開催してきたところである。

小・中・高の児童・生徒の体育学習は、4年間ずつの枠組みとしてとらえられている。体育学習や生涯にわたってスポーツに親しむ姿勢や展望を各校種間で共有しながら取り組みをすすめていくにあたって、本研究大会での実践発表や交流は校種をこえて学び合うことができる研修の場であった。

また、高橋健夫先生のご講演を拝聴し、たいへん意義ある研修を行うことができた。

講演会 日本体育大学 大学院 研究科長(博士) 高橋 健夫 先生

「新学習指導要領と体育授業の創造」～体力向上を目指して～

分科会 第1分科会 体育的活動や授業実践を通じた体力づくり

第2分科会 運動を特性を活かした、楽しい授業の展開と評価

第3分科会 主体的に取り組む保健学習(保健指導を含む)の進め方

各分科会で、小・中・高の実践発表・研究協議を行った。

奈良県小学校体育研究会ホームページ

<http://shotaiken.web.fc2.com/index.html>